

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 23 日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24530413

研究課題名(和文)現代ロシア企業の所有・支配・管理に関する総合的研究

研究課題名(英文)A study of Ownership,Control,and Management in Modern Russian Enterprise

研究代表者

小西 豊(KONISHI, Yutaka)

岐阜大学・地域科学部・講師

研究者番号：10303489

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は現代ロシアにおいて形成された企業システムと企業を取り巻く社会環境を研究対象とし、制度設計的な企業システム像とは異なる市場移行の初期条件や旧社会体制から引き継いだ企業システムとの連続性(歴史経路依存性)を重視することによって、独自の企業行動・構造、企業統治システムの実態把握を試みた研究である。そして、ロシア企業の社会的責任、企業と社会に関する研究を障害者雇用を通じて分析した。

研究成果の概要(英文)： This study is intended as an investigation of the Corporate Governance in modern Russian enterprise. The essence of this study can be easily summarized in a few words: the changes of stock ownership structure, the decision making between outsider(the shareholde) and insider(employer,employee), the appointment system of manager and the reward system for labour, the relationship informal rule and corporate institution, the corporate finance and corporate governance.The core of all this study is that how business institutional system was built in Russia.This means that how Russian enterprise adupt vigorous support of institutional financial institution.

研究分野：比較経営学

キーワード：ロシア企業 コーポレート・ガバナンス 企業と社会 企業の社会的責任 障害者雇用

1. 研究開始当初の背景

申請者は、2000年11月～2001年8月(外務省・日露青年交流センター「小淵フェロシップ」による派遣)、2003年3月、2006年3月～4月、12月、2007年2月と12月、2008年3月と8月、2009年11月、2010年11月、2011年3月の11期間、合計20ヶ月に渡って、ヨーロッパ・ロシア地域において、ロシア側のカウンターパートナーの協力を得ながら、新興財閥、金融産業グループ、小企業(スモールビジネス)に関する定点観測(予備調査を含む企業実地調査)を実施してきた。その経験と成果を踏まえ、本研究課題(2012～2014年度)では、従来からの研究インフラ、人的ネットワークをフルに活用しながら、市場移行過程における企業組織、企業行動、経営行動の実証分析のために、所有支配構造、意思決定構造、経営陣の内部構造、資本コストの管理構造、人事・技術水準などの観点から現地企業の実地調査を展開し、現代ロシア企業の総合的、構造的把握を目指してきた。

ロシア企業の実証分析のうえに、移行企業の比較経営/企業論的分析という新しい経営学研究領域を切り開くことを本研究課題では最終目標とした。

また、申請者はロシアの市場経済移行研究、中小企業の実地調査、新興財閥形成をめぐる研究書(ヤコブ・パッペ著『オリガルヒ』ロシア語)の翻訳出版を含めて、ロシアにおける企業構造・行動にかんする実証研究を積み重ねてきた。本研究はその成果に依拠し、その延長線上で構想されたものである。

2. 研究の目的

本研究の全体構想は、市場経済移行期のロシアにおいて形成された企業システムを研究対象とし、設計主義的な企業システム像とは異なる市場移行の初期条件や旧社会体制から引き継いだ企業システムとの連続性(経路依存性)を重視することによって、独自の

企業行動・構造、企業統治システムの実態把握を試みることである。

本研究は、近年ようやく国際的な潮流を受けて、ロシアで登場してきた企業の社会的責任(CSR)の現状と課題を実地調査に基づき分析し、現代ロシアにおいて社会的課題をビジネスによって解決しようとするソーシャル・イノベーションの創出プロセスを実証的に解明することを最大の目的としている。

これまで申請者は、経済主体である企業の市場にたいする適合度の検証を通じて、この25年間の市場移行期間を経て形成された経済システムをコーポレート・ガバナンスの制度的特徴と企業管理システムの観点から研究してきた。ロシア企業におけるコーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任(CSR)の関係の研究に取り組むなかで、社会的課題の解決に対してビジネスの手法を用いて新しい社会的価値の創出と普及に取り組むロシアのソーシャル・アントレプレナー(ソーシャル・イノベーションの遂行者)の存在と動向に強い関心と興味を持つようになった。市場レベルにおけるビジネス活動を通じて、多様な社会的課題の解決を目指すロシアのCSRとソーシャル・イノベーションの実態を解明することが本研究の狙いである。

3. 研究の方法

本構造および市場の諸制度の国際比較研究であり、詳細かつ膨大な一次資料分析だけでなく現地調査を必要としている。現地調査には聞き取りやアンケートだけでなく、専門研究者との研究交流も含まれる。現地調査では株式所有構造など企業の意思決定にかかわる研究は、新興市場国ロシアにおける企業の行動・領域だけでなく、コーポレート・ガバナンスを明らかに

するために経営者の選抜、動機づけ、報酬および外部者(銀行など)のモニタリング機能、企業と取引にかかわるインフォーマルおよびフォーマル・ルールのあり方に注目する。

4. 研究成果

市場移行諸国におけるコーポレート・ガバナンスの「本来あるべき像」を一元的に追求しても、それが徒勞に終わることになることは従来の多くの先行研究が明らかにしてきた(例えば、Masahiko Aoki(2010), *Corporations in Evolving Diversity*, Oxford University Press)。つまり、各国の異なる文化、規範、価値観によって、「あるべき像」の理想が異なるからである。本研究課題は、このような現在の研究の到達点にたったうえで、下記のような新しい知見を加えていきたいと考えている。

本研究課題にかんしては移行当初に民営化政策について多くの研究があったが、経済安定化の時期に入った現時点でコーポレート・ガバナンスおよび経営管理システムを総合的に研究したもの、さらに市場移行諸国間でコーポレート・ガバナンスシステムを国際比較したものはない。

本研究は民営化と構造政策によって再編された企業内での意思決定構造とその仕組みを実証研究することにより、市場経済システムの制度・取引慣習上のルールを明らかにしようというもので、市場形成の経済政策やマクロ経済実態から経済システムを明らかにしようとしたこれまでの研究成果に比して独創的である。コーポレート・ガバナンスシステムの比較および多様性が重視される比較制度分析にとっても、既存の経済システムモデルとは異なる市場・企業像を提供することが予想され、市場経済の諸制度・ルールについて新たなモデルを提起する意義は大きいと考える。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 5 件)

黒田学、小西豊「ポーランドの障害児教育・福祉調査 アウシュヴィッツと障害者スポーツ」『福祉のひろば』(総合社会福祉研究所) 2014年12月号(通巻542巻) 40-45頁、査読無

黒田学、平沼博将、石川政孝、バユス・ユイス、小西豊、荒木穂積、野村実「イタリア共和国エミリア・ロマーニャ州における障害児教育・福祉に関する調査研究」『立命館産業社会論集』第50号第2巻、2014年9月、31-54頁、査読有

黒田学、バユス・ユイス、小西豊、仲春奈、荒木穂積、平沼博将、荒木美知子「スペイン・カタルーニャ自治州における障害児教育・福祉に関する調査研究」『立命館産業社会論集』第49号第2巻、2013年9月、23-44頁、査読有

黒田学、小西豊、荒木穂積、バユス・ユイス、平沼博将、坂井清泰、向井啓二、仲春奈「キューバ・ハバナにおける障害児教育の実情」『総合社会福祉研究』(総合社会福祉研究所) 第41号、2012年12月、104-117頁、査読無

小西豊「書評：今井雅和著『新興大国 ロシアの国際ビジネス ビジネス立地と企業活動の進化』(中央経済社、2011年3月)」『比較経営研究』(日本比較経営学会) 第37号、2013年3月、160-167頁、文理閣、査読無

[学会発表](計 4 件)

・口頭発表

小西豊「障害者雇用問題の国際比較 日、独、西、露の現地調査から」日本比較経営学会第33回全国大会、2013年5月11日、鹿児島国際大学(鹿児島県鹿児島市坂之上8-34-1)

小西豊「ロシアにおける障害者の職業訓練と雇用問題 インクルーシブな社会を目指しているか」ロシア東欧学会2013年研究大会、2013年10月6日、津田塾大学(東京都小平市津田町2-1-1)

黒田学、平沼博将、小西豊「特別ニーズ教育の国際比較研究 イタリア・スペイン・ロシア」日本特殊教育学会第52回大会、2014年9月22日、高知大学（高知県高知市曙町2-5-1）

小西豊,The Problems of Employment for Persons with Disabilities in Japan,The 7th International Conference “Equal Rights-Equal Opportunity”,2015年4月22日,Moscow City (Russia)

〔図書〕(計 1 件)

黒田学、小西豊、小西文子、荒木美知子「ロシアの障害児教育・インクルーシブ教育の実情と課題 モスクワ・サンクトペテルブルク調査報告(2011-2014年)」黒田学編『ロシアの障害児教育・インクルーシブ教育』クリエイツかもがわ、2015年4月、67-98頁

小西豊「障害者を取り巻く経済環境と経済学の課題」玉村公二彦、清水貞夫、黒田学、向井啓二編『キーワードブック 特別支援教育 インクルーシブ教育時代の障害児教育』クリエイツかもがわ、2015年4月、276頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小西豊 (KONISHI, Yutaka)
岐阜大学地域科学部・講師

研究者番号：10303489

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者